



北京大学 2019 年招收攻读硕士学位研究生

入学考试模拟试题

考试科目：213 翻译硕士日语

考试时间：180 分钟 总分：150 分

命题时间：2018 年 11.24 日

命题人：育明教育考研考博研究室

考生注意：

1. 本试题的答案必须写在规定的答题纸上，写在试卷上一律不给分。

2. 考试结束后，将答题纸和试卷一并装入试卷袋内。

一、选择题

- 1、 水を_____にして、歯を磨くのはもったいないですよ。
1. 出しがてら 2. 出しっぱなし 3. 出すほど 4. 出すのみ
- 2、 この試験は非常に難しく、私も4回目_____ようやく合格できた。
1. にして 2. におうじて 3. にしたがいい 4. にくわえ
- 3、 外国語教育について、政府の方針に_____計画を立てた。
1. ついだ 2. 至った 3. 即した 4. 比した
- 4、 当劇団は評判がよく、明日の公演を_____今年は10都市をまわる予定である。
1. かわきりに 2. かえりみず 3. 前にして 4. 禁じえず
- 5、 最近の若い親と_____子どもが電車の中で騒いでいても、ちっとも注意しようとし
ない。
1. あれば 2. いえども 3. ばかりに 4. きたら
- 6、 お忙しい_____、恐れ入りますが、どうかよろしくお願い申し上げます。
1. ところを 2. ものを 3. とさを 4. ことを
- 7、 1年に1回ぐらい_____こんなにしょっちゅう停電するようでは、普段の生活に
もさしつかえる。
1. ならまだしも 2. ともなると 3. にあって 4. ほどでなくても
- 8、 こうして私たちが商売を続けられるのも、お客様_____のものと感謝しておりま
す。
1. だって 2. あって 3. かぎり 4. ばかり



- 9、こんなに騒がしい部屋では、赤ん坊を_____寝かせられない。
1. 寝かせるかたわら 2. 寝かせつつも 3. 寝かせるがはやいか 4. 寝かせようにも
- 10、この道具を一度_____, あまり便利さに手放せなくなりました。
1. 使わないにしろ 2. 使っただけあって
3. 使ってからというもの 4. 使ってからでなければ
- 11、今年は、息子の結婚、孫の誕生と、あでたいこと_____一年だった。
1. まみれの 2. ずくめの 3. めいた 4. っぽい
- 12、大学生の就職は、今年は去年_____さらに厳しい状況になることが予想される。
1. にかからんで 2. にかかわらず 3. にのっとって 4. にもまして
- 13、電車が駅に止まり、ドアが開く_____彼は飛び出していった。
1. ことなしに 2. やいなや 3. ともなしに 4. におよんで
- 14、著い日に草むしりをしていたら、汗が滝_____流れてきた。
1. のごとく 2. なりに 3. らしく 4. じみて
- 15、腰に痛みがあると、運動_____日常生活でもいろいろ不便なことが多い。
1. をよそに 2. はどうあれ 3. をふまえて 4. はおろか
- 16、彼はたび重なる困難を_____, 前に進んでいった。
1. こめて 2. とわず 3. ものともせず 4. たよりに
- 17、会社名が変わるのを_____社員の制服も新しくすることが決められた。
1. めぐって 2. 越えて 3. おいて 4. 契機に
- 18、好きなことを職業にする人が多いが、私は映画が_____職業にはしないことにした。
1. 好きだからこそ 2. 好きなわりには 3. 好きなどころか 4. 好きというより
- 19、国会議員_____, 公務員_____, 税金は納めなければならない。
1. 探というか/というか 2. だろうが/だろうが 3. なり/なり 4. だの/だの
- 20、留学する_____, 勉強だけでなく、その国の文化を学んだり交流をしたりしたいと思う。
1. 一方で 2. あげくに 3. 以上は 4. 末には



- 21、 小学校からずっと仲のよかった彼女が遠くに引っ越すのは、寂しい_____。
1. ほかない 2. に限る 3. 限りだ 4. にほかない
- 22、 台風の被害にあった人々のため、一日も早い生活環境の整備を_____。
1. 願ってられない 2. 願うわけでもない 3. 願いようもない 4. 願わずにはられない
- 23、 首相が誰になるかは、日本の将来_____ことだ。
1. に基づく 2. にかかわる 3. にかたくない 4. に相違ない
- 24、 この地域の再開発に自分がかかわることになろうとは_____。
1. 想像すらしていなかった 2. 想像することができた 3. 想像さえしたわけだ 4. 想像しないではいけない
- 25、 この作品の芸術的価値は高く、十分、今回の展覧会に出品する_____。
1. にとどまる 2. にすぎない 3. にたる 4. にこたえる
- 26、 就職が決まらなくても困らない。アルバイトをして生活する_____。
1. まだだ 2. かわりだ 3. とおりだ 4. ほどだ
- 27、 新しく来たコーチに対する彼の態度は、コーチとして認めないと_____。
1. 言うまでもない 2. 言いがたい 3. 言わんばかりだ 4. 言わなくもない
- 28、 君たちが成功するかどうかは、与えられたチャンスはどう使うかに_____。
1. たえない 2. かかっている 3. かなっている 4. あたらない
- 29、 地元の住民の反対を無視した開発は_____。
1. 進めずにおくものか 2. 進めるべきだ 3. 進めずにはおかない 4. 進めるべきではない
- 30、 国際交流を進めるには、相手を理解しようとする姿勢_____。
1. は否めない 2. をかえりみない 3. が欠かせない 4. を異にする

二、阅读

(1) 私には、ひとをほめるクセがある。「ひと」というのは、芸術家諸君のことだ。これは、私の心がひろいからではなく、せまいからである。どうしても、ほめられない相手もあるが、少しでも美点を発見するように努力すれば、たいがいほめられる。たとえばひとを傷つけても、正しい見解を主張するのが、批評の厳格さであろうが、なかなか①この原則が守れない。守れないというのは、私の心が狭い、弱いからであろう。やっつけやろうと、攻撃だけを心がけるのも、実に狭いやり方であるが、万事ホドホドに、



あたりさわりのないようにというのも、②よくないと思う。私は時によると、かつて自分の作品を非難した仲間の作品に対して、ことさら甘い点をつけることがある。これは、自分をやっつけた相手に対しても、寛大な態度を示したい、つまり自分の心のひろさを証明したいためであり、結局は心のひろさではなくて、心のせまさを暴露していることになる。

(武田察淳「武冊泰淳全集第16巻己による」)

(注)あたりさわりのないように:無難に

- 1、 ①「この原則」とは筆者のどのような態度を指すか。
 1. 芸術作品の批評をする時、少しでも美点を見つけようと努力する態度
 2. 芸術作品の価値を見極めるため、批評を行う際の厳しさを失わない態
 3. 芸術作品の批評をする時、作品だけでなく芸術家を決して傷つけない態度。
 4. 芸術作品の真の価値にかかわらず、常に厳しい批評や主張で攻撃する態度。
- 2、 ②「よくないと思う」とあるが、筆者は個がよ《ないと愚っているか》。
 1. 厳密な評価ではなく、甘めの評価を示すこと。
 2. 批判されたことがある相手の作品を攻撃すること。
 3. 批評において、常に正しいと思う見解を伝えること。
 4. 厳しい評価によって、自分の能力の高さを証明すること。

(2) 昼下がりのカフェ(注1)でのこと。男女の争う声に振り向くと、ひとりの女が立ち上がり、持っていたグラスを逆さにして飲み物をこぼし始めた。客達の視線が集まる。連れの男は顔を上げようとはせず、女の腕を掴んで座らせようとするが、女はその手を振り払うと、叫んだ。

「あんた(注2)なんか最低よ!」

ほかの客が言っている声が聞こえる。

「ドラマみたいね」

いささか陳腐(注3)だったが、①女は「演じること」ですっきりしたのかもしれない。現実的ではないことを、「ドラマみたい」とよく言う。

13年前の朝のことだった。洗面台と洗濯機とのわずかな隙間に頭を突っ込んで、母が全裸で倒れていた。意識はなかった。

救急隊員(注4)の緊迫(注5)した医療用語が飛び交い、心臓マツサージが始まる。オレンジ色の毛布を掛けられた母は、ピクリとも動かない。その隙に、開け放たれた玄関から飼い猫が外へ出てしまった。

当時、大学生だった弟が、とっさに猫を捕まえたその時、「猫なん構っている場合で



すか!」と隊員の怒鳴り声が飛んだ。

弟は、②猫を抱いたまま立ち尽くしていた。

後は、「かかりつけの病院(注6)は?」、と、はじかれるように聞かれたことだけしか思い出せない。

これがドラマなら、大概は「姉弟でお母さん!」と駆け寄って下さい」と指示される。

人間は、とっさにとんでもないことをする。長年、人間を見つめる仕事をしてきたはずが、人の本当とはなにか、いまだに捉えきれないでいる。

(岸本加世子「岸本加世子の台本にないセリフ」2003年1月11日付朝日新聞による)

(注1)カフェ:飲食をする店の一つ

(注2)あんた:あなた

(注3)いささか陳腐だ:よくある情景だ

(注4)救急隊員:急な病気や事故にあった人を病院まで運ぶ職員

(注5)緊迫する:物事の様子が非常に緊張し、油断のできない状態になる

(注6)かかりつけの病院:いつも診てもらっている病院

1、「①女は「演じること」ですっきりした」とあるが、なぜすっきりしたのか。考えられる理由として、最も適当なものはどれか。

1. 女は人前で男への怒りを十分に表すことができて満足したから。
2. 女は女優として人前で上手に演じることができ、充実感を得たから。
3. 女は人前で男を非難することで、他入から同情を得ることができたから。
4. 女は人前で男の手を払い、叫んだことを「ドラマみたい」とほめられたから。

2、②「猫を抱いたまま立ち尽くしていた」とあるが、弟はなぜそうしたのか。考えられる理由として、最も適当なものはどれか。

1. 隊員の救急処置に驚いたから
2. 隊員の質問がわからなかったから
3. 猫が外へ出て行きそうだったから
4. どうすればいいか、わからなかったから

3、筆者は女優である。その立場から、この文章で言いたい二つとは何か。

1. 長年、女優の経験を積んできたので、とっさの時にも冷静に行動することができる
2. 長年、女優の経験を積んできたが、現実の人間の心と行動を把握することは難しい。
3. 長年、女優の経験を積んできたが、とっさの時にはまだうまく演じることがで



きない

4. 長年、女優の経験を積んできたので、様々な人間の心と行動を捉えて十分表現することができる

(3) グラフを見た時の印象は何によって決まるのでしょうか。グラフは表や文字と比べると、よりビジュアル(注1)性の高いものです。グラフの第一印象は数字ではなく形で決まります。

(中略)

①二つのグラフを見て下さい。二つの企業の最近4年間の売上を示したものです。右の企業は成長が著しく、左の企業の伸びは鈍いように見えます。

本当にそうでしょうか。実は二つのグラフはまったく同じ数値を表にしたものです。。数値は左から10、11、12、13と推移(注2)しています。右のグラフは縦軸の日盛りが9から始まっています。一方、左のグラフは、目盛りは0から始まっています。もう一度二つのグラフで確認して下さい。

同じ数値を表すグラフでも正反対の印象を与える場合があります。どうしてこうしたことが起こるのでしょうか。それは人が(②)からです。この場合には棒グラフです。棒の長さに注目しています。棒の長さを比較すると右のグラフは棒の長さの差異が激しい。それに比べて左のグラフは長さの差異がそれほど大きくない。この違いが印象の違いになります。

このことからわかるように③グラフは数値忠実に翻訳したのでありません。数値は客観的な事実ですが、グラフは客観的な事実を表現しないのです。数値をビジュアル化する過程で作り手の主張が反映されます。客観的な事実のみを示すならば表で表現すべきです。グラフでは作り手に主張がなければ伝えたいものと正反対の印象を与えてしまう可能性さえあります。

主張を確実に伝えるために、初めに自分が何を伝えたいのかを明確にします。そしてその後それに合わせた形でグラフを作成します。最初にメッセージあり(注3)きで、グラフはその裏付け(注4)の道具なのです。

(飯田英明『「図解表現」入門』による)

(注1)ビジュアル:目に見えること

(注2)推移:移り変わること

(注3)メッセージありき:メッセージがあった

(注4)裏付け:事実であることを証明する証拠

1、①「二つのグラフ」はどのようなことを示すために出されているか。



1. 人はグラフ(形)ではなく、数字から情報を得ていること
2. 同じ内容を表すものでもグラフの作り方で印象が変わること
3. グラフの日盛りは0から始めなければ正確な情報は伝わらないこと
4. 伸びが著しいか鈍いかは、人間の印象によって変わるので意味がないこと

2、(②)に入るのは次のどれか。

1. グラフを形で見ている
2. グラフを数値で理解している
3. グラフをあまり信用していない
4. グラフをいろいろな角度から見ている

3、③「グラフは数値を忠実に翻訳したものではありません」とあるが、それはなぜか。

1. グラフでは、わずかな数値の差が表しにくいから
2. グラフの中には、正しい数値が書かれていないことが多いから
3. 数値をグラフにすると、グラフを作る人の考えで形が変わるから
4. 数値をグラフにすると、少し数字を変えてしまってもわからないから

4、筆者はグラフを作ることに、どのようなことをすすめているか。

1. 自分の考えを明確にするために、まずグラフを作ってみること
2. 数値を客観的な事実として示すことができるようなグラフを作ること
3. 自分の考えをはっきりさせてから、それを的確に伝えるグラフを作ること
4. 自分の主張に合わせるため、時には事実と反対の印象を与えるグラフを作ること

(4) ストレスは、むやみに避けるものではなく、適当につき合っていくべきものである。その付き合い方に示唆(注1)を与えてくれる動物実験を紹介しよう。

この実験では、2匹のラット(実験用シロネズミ)のしっぽを電線につなげて、そこに電気を流す。ラットは痛いので騒ぐ。ラットにとって、電流は大変なストレス(注2)だ。

2匹のうち「上司」とよばれるほうは、前脚で、目の前のスイッチを1回押せば電流を切ることができる。しっぽに痛みを感じたら、スイッチを押して電気ショックを回避(注3)できるのである。もう1匹、「部下」とよばれるほうは、自分で電流を切ることはできない。上司が切ってくれるのをひたすら待つだけである。

この2匹に電流が一定量流された。上司と部下、両ラットがしっぽに受けた電気ショックの量は全く同じである。それなのに、2匹のラットの胃を調べてみると、上司のほうが部下よりも潰瘍(注4)が小さかった。

この結果は、ストレスがあっても、自分でコントロールできれば、悪影響は少ないことを意味している。ストレスの量よりも、それをコントロールできるかどうかのほ



うが重要なのだ。しかも、コントロールできるかどうかは、多分(注5)に主観で決まる。

たとえば、長い時間働いている人が、それを強いられたものと思えば、長時間労働はストレスとなる。ストレスを引き起こし、からだと心に深刻な影響が出る。ところが、自分が好き好んで長い時間働いていると思えば、長時間労働というストレスをコントロールしていることになる。したがって長時間労働はストレスの悪影響を生まない。現実の一つでも、それをどう受け止めるかは当人次第なのである。

(相川充「反常識の対人心理学」による)

(注1) 示唆: ヒント

(注2) ストレッサー: ストレスを与えるもの

(注3) 回避する: 避ける

(注4) 潰瘍: ストレスなどが原因で、そこなわれた体の組織

(注5) 多分に二大いに

- 1、 ラットを使ってどのような実験が行われたか。
 1. 電流を流し、ラットがそのストレスからどのように身を守るかを調べる実験
 2. 電流を流し、そのストレスが与える影響は条件によりどう違うかを調べる実験
 3. 電流を流し、2匹のラットのどちらが早く電流を切ることができるかを調べる実験
 4. 電流を流し、それが胃の潰瘍を小さくするのにどの程度効果があるかを調べる実験
- 2、 この実験で「上司」、「部下」とよばれる2匹のラットの役割は、次のうちどれか。
 1. 「部下」が「上司」の分の電流も受ける。
 2. 「上司」が命令し、『部下』が電流を切る。
 3. 「上司」がスイッチを押して、「部下」に電流を流す。
 4. 「上司」がスイッチを押して、自分と「部下」の電流を止める。
- 3、 ラットの実験の結果から、どのようなことが言えるか。
 1. ストレスは、多ければ多いほど悪影響が多い。
 2. ストレスは、他との競争がある場合、悪影響が多い。
 3. ストレスを自分で調整できる場合、悪影響は少ない。
 4. ストレスを他から与えられる場合、悪影響は少ない。
- 4、 長時間労働によるストレスの悪影響を少なくするには、どうすればいいか。この実験から推測できることは何か。
 1. 職場の上司からの指示でも時には断る。
 2. 嫌な仕事でも力を抜かないで一生懸命仕事をする。



3. 自分で時間をコントロールしてうまく体を休める。
4. やりたいという気持ちを持って前向きに仕事をする。

(5) 来世紀に向けて、個人レベルであれ地域社会・地球規模であれ、科学技術の進歩ゆえに いっそう複雑になっていく問題に対して、個人が判断しなくてはならない局面が増えていくことだろう。その時に自分なりに納得のいく判断を下すためには、科学に無関心・無理 解を決めこんだ^(注1)りせず、ふだんから科学に目を向け、科学的な考え方にふれている必要があるだろう。つまり、①科学と社会を結びつける良質の情報が必要なのである。その情報は自分の行動に役立てるために受信するだけではなく、場合によっては、自ら責任ある発信者となるために役立てることも大切である。

残念なことに、科学者がもたらした成果は、そのままでは判断材料としては②役に立たないことが多い。まず、専門用語ゆえに科学はとりつきにくい。科学が高度になり細分化したために、領域が異なれば科学者でも理解が困難な状況になってしまっている。良質の情報は優れた③表現能力をともなわなくてはならないが、実際のところ、研究に専念している科学者には時間的余裕がなく、そうした表現能力を磨くいとま^(注2)もないのが普通である。

一方で、④科学者にも良質の情報が必要である。科学者は何かしら新しいことを世界に先駆けて発見・発表することに熱中するものである。その結果が化学・生物・核兵器の開発に加担する^(注3)ことはないか、あるいはわれわれの生活ないしは地球という生態系^(注4)に思いもよらぬ影響を与えることがないかに思い^(注5)を馳せる機会は、必ずしも多くはない。⑤こうした点に関して、科学者は外部から指摘される必要がある。

(⑥)、最先端の科学の研究成果とその社会的意味を科学に慣れ親しんでいない人に、また社会的意味については科学者に対しても改めて説明する人材、つまり科学の“インタープリター”が必要となる。インタープリターは専門用語の単なる直訳者^(注6)ではなく、問題を指摘し、進むべき方向を示唆^(注7)する、科学と実生活の橋渡しをする解説・評論者である。かれらが架けるその橋は、専門化した科学技術を公開して市民を啓蒙^(注8)するという一方通行のものであってはいけない、インタープリターには科学者がふだん忘れがちな社会への波及^(注9)効果、倫理的^(注10)問題、他の科学技術や学問分野との連繋^(注11)の可能性なども鋭く指摘してほしい。また、一般の人の科学に対する素朴な疑問の中からインタープリターが斬新^(注12)な考 えを吸い上げることで、科学者は思いもよらぬ発想転換のヒントを得られることも考えられる。

現在でも優れた作家、評論家、科学者、ジャーナリストなどが先端科学のインタープリターとして活躍しているが、21 世紀に向けてその活躍はますます期待されている。(課田玲子「社会のなかの科学、科学にとっての社会」『現代日本文化論 13 日本人の科学』による)



- (注1) 決めこむ: 勝手にそのように決めてしまう
- (注2) いとま: 暇、時間のゆとり
- (注3) 加担する: 力を貸す
- (注4) 生態系: 生物とそれを取り巻く環境
- (注5) 思いを馳せる: 想像する ちとくやく
- (注6) 直訳: 原文の一語一語を辞書通りの意味に忠実に訳すこと しさ
- (注7) 示唆する: ヒントを与える
- (注8) 啓蒙する: 教え導く
- (注9) 波及: 影響が及ぶこと
- (注10) 倫理: 人として守るべき道
- (注11) 連繫: つながりをつけること
- (注12) 斬新な考え: それまでにない新しい考え

1、 ①「科学と社会を結びつげる良質の情報が必要なのである」とあるが、この「良質の情報」とは何か。

1. 一般の人にも役に立つ科学に関する情報
2. 複雑な社会の問題に関係のある科学的情報
3. 科学者が研究のヒントにできるような情報
4. 社会に大きな影響を与える科学に関する情報

2、 ②「役に立たないことが多い」とあるが、筆者はどうしてそう思うのか。

1. 科学者には複雑な問題を考える時間的余裕がないから
2. 科学者がもたらした成果は社会的意味があまりないから
3. 科学者の発表する研究成果は一般の人には理解が困難だから
4. 科学が高度になり、一般の人は科学に関心を持たなくなったから

3、 ③「表現能力」とあるが、ここではどんな能力のことを言うのか。

1. 科学技術の進歩にともない複雑化する問題を解説できる能力
2. 自分の研究成果が一般の人にもわかるように説明できる能力
3. 領域の違う科学者と自分たちの研究成果について話し合える能力
4. 一般の人と地域社会を結びつける優れた研究を発表できる高度な能力

4、 ④「科学者にも良質の情報が必要である」とあるが、筆者はどんな情報が必要だと言っているか。



1. 自分の研究成果が、社会生活や地球環境などに、どんな影響を与えるかを示す情報
 2. 自分の研究を、科学に慣れ親しんでいない人に、わかりやすく解説する方法を教える情報
 3. 自分の領域とは異なる研究の成果が、自分の研究にどのような影響を与えているかを示唆する情報
 4. 自分の研究に対して、領域の異なる科学者や一般の人はどんな関心を持っているかを知るための情報
- 5、 ⑤「こうした点」とあるが、どんな点か。
1. 自分の研究成果がどのような社会的意味を持つかという点。
 2. 自分と同じ研究をしている科学者がどのくらいいるかという点。
 3. 自分の研究の内容や進め方に新しい発見があったかどうかという点。
 4. 科学者が自分の研究成果の影響について発表したかどうかという点。
- 6、 (⑥)に入る最も適当な言葉はどれか。
1. さらに
 2. そこで
 3. あるいは
 4. ところが
- 7、 筆者は、インタープリターが科学者に対してどのように働きかけることを期待しているか。
1. 科学の研究成果がどのような社会的問題を引き起こすかについて、調べるように指導すること
 2. 一般の人の科学に対する疑問に答えられるように、科学者が表現能力を磨くことの重要性を訴えること
 3. 作家、評論家、ジャーナリストがさらに活躍できるように、研究成果をできるだけ早く公開するよう促すこと
 4. 科学者の気づかない問題点を指摘し、他分野との協力の可能性や研究のヒントになるような情報を提供すること